山本 のゆり

いながわ特派員報告

田野 香織

今年も残りわずかとなりました！ 今年最後の特派員報告では、私たち特派員も以前から興味のあった雨水貯留タンクを紹介します。

雨水貯留タンクを紹介

雨水貯留タンクをご存じですか？

雨水貯留タンクはその名の通り、雨水をタンクに貯めて有効利用するものです。タンクは雨どいに接続し、タンクに貯まった雨水は庭木の散水などに利用できます。

また公共下水道への接続に伴って不要となった浄化槽を転用して雨水を有効利用できます。

雨水はタンクに貯めることによって、水の循環型活用と水量確保ができ、雨が少ない時でも水道水を使わず、自然資源の有効活用が図れ非常に役に立ちます。

また災害時、水道がストップした時など非常時にも役立ちます（飲み水としては、使わないでください）。

雨水貯留タンク設置を助成

町では、容量100リットル以上の雨水貯留タンクを設置する人に、購入費および設置費用の助成を行なっています。

▷**助成額**　購入費および設置費用の総額の２分の１を助成、上限は３万円（浄化槽転用型は10万円）です

▷**交付対象**　一戸建ての住宅１棟につき１基とします

（例）購入費および設置費用の総額５万円の場合

５万円 × 1/2 ＝ ２万５千円 が助成されます

～都市環境課福田さんに聞きました～

◆これまで雨水貯留タンクの助成金制度を利用された人はどれくらいおられますか？

町内で現在まで165基の設置がありました。うち8基は浄化槽転用型のものです。年平均20基設置といったところです。

◆雨水貯留タンクは町内で購入できますか？

町内のホームセンターなどで販売しています。最近はインターネットでも各メーカーからタンクが販売されています。

◆購入費など総額の半分を助成してもらえるとはお得です。申請の手続きについて教えてください。

助成金の交付を受ける場合はあらかじめ、申請書、設置場所の位置図、見積書などの必要書類を都市環境課に提出してください。

助成は町の予算の範囲内で行っていますので、購入後や設置後の申請は受け付けていません。必ず購入前に連絡してください。

▽**問合せ**　同課（☎766・8704）

※ホームページで資料の閲覧や申請書のダウンロードなどもできます。

資源の有効利用を目指して

鮒子田さん宅の庭の池

雨水貯留タンク☆活躍しています！

～ 池の水の入れ替えにも雨水を利用 ～

白金・鮒子田さんご夫妻

◆雨水貯留タンクを設置された理由を教えてください

ご近所さんが一緒に雨水貯留タンクを設置しませんか、と誘ってくださったのがきっかけです。

タンクは造園施工店で購入し自宅に発送してもらって、自分で雨どいをカットして設置しました。

◆雨水の利用方法は？

雨水は、庭木の散水、それと庭に池を作っているのでその池の水の入れ替えにも使っています。水道水の節約になっていると思います。

～ 庭木や野菜の散水に雨水を利用 ～

白金・木船さん

◆雨水貯留タンクはいつから利用されていますか？

設置して１年ほどです。ネットで業者のホームページを見ていて助成金制度を知り、申請、購入しました。

うちは100リットルのタンクを購入しましたが、真夏は散水にまかなえきれません。もう少し容量の大きいタンクにすればよかったかな。

◆利用されてどうですか？

雨水を水やりに使うことは、水道水の節約になるだけでなく植物にも優しいように感じます。

～ 洗車に雨水を利用 ～

アイディタウン笹尾・増谷さん

◆雨水貯留タンク設置の経緯を教えてください

下水道が通ることになって、浄化槽が不要になりました。

自治会の説明会で助成金制度のことを知りましたので、ご近所さんに土木関係の工務店を紹介してもらって、平成15年に浄化槽を雨水貯留タンクに転用しました。

◆浄化槽の雨水を利用されてどうですか？

正直言うと匂いとか心配だったのですが、気にならないですね。雨水は洗車、玄関周りの掃除、雨戸の掃除、庭の水まきなどに使っています。色々使えて便利だと思いますので、洗車だけでなくガーデニングをされる人にもおすすめです。

～ 水を大切に活用しましょう ～

町環境住民会議会長・枝松 幸子さん

私自身が雨水貯留タンクを自宅に設置したのは２年ほど前です。近くのホームセンターで購入し、主人が取り付けました。

私たち環境住民会議では、「水を大切にする」ことを活動の一つとしています。雨水貯留タンクは、雨水を貯めておき、使いたい時に散水や洗車などに使えるなど、節水になり環境にとても優しいものです。資源の有効利用になるのはもちろん、簡単に取り付けできますし、虫も湧きません。

水がいつでもあるとは限らないので、私たち一人ひとりが自分でまかなえるように、住民の皆さんも取り組んでいただけたらと思います。

～編集後記～

今回紹介したお宅は、住宅街にありながら自然と共生されているように感じました。

急な取材のお願いにも温かく応じてくださってありがとうございました。

今年一年間、「特派員報告」をご覧いただきありがとうございました。皆さん良い年をお迎えください。

ふぉとにゅ～す

姉妹都市提携 25 周年 強まる絆

▼▶ 10 月 31 日～ 11 月 4 日まで、姉妹都市のオーストラリア・バララット市より、姉妹都市提携 25 周年記念訪問団（団長＝ジョン・バート市長ほか 21 人）が来町し、姉妹都市提携 25 周年記念協定書調印、剣道交流、いながわまつり参加、町内ツアー、学校訪問、記念植樹など様々なイベントに参加して町民と交流を深めました。

町役場前で記念撮影

記念式典で協定書に調印

猪名川源流太鼓の演奏による歓迎レセプションの様子

感謝をこめて警察官表彰式

▲ 11 月 7 日、31 回目となる町警察官表彰式を町役場で開催し、日頃から町内の治安維持や交通安全などに貢献いただいている川西警察署の森山正重警部補（写真左から 2 人目）と田中幸孝警部補（同 3 人目）に、日頃の感謝をこめて感謝状と記念品を贈りました。

楊津小学校で「ほんもの体験」学習

▲「その道のプロに来ていただき、いろいろな体験をする取り組み」の中で、10 月 23 日、ラジオなどで活躍中の大内真紀さん（町内在住）を講師に招き、2 年生が「発声」を学びました。「はじめより良くなったね！」と言われ、喜ぶ子ども達でした。とても貴重な体験をした時間になりました。

（仮称）環境交流館「メダカの里」プレオープン

◀▲ 11 月 16 日、町営北プール跡地が生まれ変わりました。町環境住民会議のメンバーが中心となり、手づくりでビオトープの池などをつくり、里親が大切に育てたメダカを放流して一般公開に至りました。今後は、土・日曜・祝日の午前 10 時～午後 4 時の間開放され、町内の貴重な水生生物たちや環境保全の取り組みなどを紹介していきます。

秋季農林産物品評会を開催

▲ 11 月 3 日、いながわまつりにおいて、秋季農林産物品評会を開催しました。太ネギや水菜、小カブなど合計 119 点の出品があり、県知事賞（キャベツ）、町長賞（大根）など 10 人が受賞されました。品評会終了後には即売会を実施し、小雨の降る中、多くの人が新鮮野菜を買い求めました。

楽しかった「いながわまつり」

▼ 11 月 3 日、総合公園などで第 46 回いながわまつりを開催しました。各種団体による演奏・コーラス・ダンスなどの発表、絵画・陶芸などの展示や姉妹都市提携 25 周年記念バララット市訪問団の紹介、模擬店・バザーなどのイベントを約 2 万 5 千人が楽しみました。

楊津小学校でグリーンスクール表彰

▶ 11 月 13 日、優れた環境教育を実践している学校として、兵庫県知事より楊津小学校がグリーンスクールとして表彰されました。

これは、里山・清流猪名川・動植物の保全などについて、昔からの生活の知恵や循環型の生活と関連づけながら学んでいることが評価されたものです。

猪名川小学校で図書ボランティア交流

▼ 10 月 23 日、兵庫県教育委員会から「読書活動推進校」の指定を受けている同校で、西宮市立広田小学校の図書ボランティアの皆さんが公演しました。

普段あまり目にすることのない「狂言」なども披露され、子ども達は真剣に聞き入っていました。

つつじが丘幼稚園でレスリングと化石にふれたよ

◀▼▶ 10 月 31 日、町レスリング協会の指導者を招き、マット運動の指導を受けました。同協会に所属する園児がレスリングを披露するなど、園児たちはレスリングに興味津津。気持ちを高めて、楽しみながら体を動かしました。

また、同協会の松本さんが町内の各学校で化石などの講師をしていることから、園児たちは化石にふれ、貝を耳にあて「海の音がする！」と、新鮮な感想が飛び出していました。

防火フェアで、火災を体験！

▶「秋の火災予防運動」期間中の 11 月 9 日、イオンモール猪名川で、「防火フェア」を開催しました。住宅用火災警報器の展示や消火シミュレーション体験を行い、大人も子どもも真剣な表情で火災の映像に向けて消火器を操作するなど、貴重な体験をしました。

いなぼうと共に登場したニューヒーロー「炎」は、子ども達に名刺を配りながら、防火啓発の任務に励みました。